

## 第 52 回 鳥取しゃんしゃん一斉傘踊りに参加しました！

本校の留学生、Gfrenz を中心とした日本人学生、教員、そして地域の方も加わった連、「鳥取大学 International 踊り子隊」が、今年も鳥取しゃんしゃん一斉傘踊りに参加しました！これは、鳥取県留学生交流推進会議の事業である「鳥取県を学びの場とする鳥取フィールドスクール事業」の第二回目のイベントでもあります。8月14日当日は、晴天に恵まれ、沿道に詰めかけた多くの一般市民の方からの注目を受けながら、参加者たちは、この2か月間の練習の成果を存分に発揮しました。

また、このイベントは、支援してくださる地域住民の方との交流の機会として、毎年留学生にとって貴重な体験となっています。日本での楽しい思い出の一つとして、いつまでも、留学生の心に残ることでしょう。

以下、写真と、参加留学生の感想ですので、お楽しみください。



## 一生の思い出：しゃんしゃん祭

地域学部 王 奕欣(オウ エキキン)(中国)

鳥取といえば、因幡の白兔、梨、コナン館など語彙がいっぱい頭に溢れ出す。鳥取の祭といえば、しゃんしゃん祭の華麗で盛大な場面にすごく感動する。鳥取しゃんしゃん祭は、平成26年に『最大の傘踊り』で世界記録を達成し、毎年参加する人は4千人以上だ。今年のしゃんしゃん祭りも4部分で構成した。8月7日のプレイベント、8月13日の前夜祭、8月14日の一斉傘踊りと8月15日の市民納涼花火大会だった。

平成28年8月、第52回しゃんしゃん祭が開催された。私は今年4月からの留学生だが、去年来た先輩からたくさんしゃんしゃん祭についての情報をもらった。先輩たちはこの一年間ずっと傘踊りの機会を待っていたことを知っていた。5月、やっとしゃんしゃん一斉傘踊りの参加者募集の情報が出て、友達と一緒にわくわくしながら申し込んだ。そして、練習を待った。この頃、綺麗な傘を持って、着物を着て、みんな一緒に鳥取の街で踊る美しい映像がビデオのように頭の中で再生していた。

6月14日から国際交流プラザで練習が始まった。毎週火曜日と金曜日に練習があった。初めて傘を開いた時の、すごく素敵な気分を今も覚えている。みんなで列を作って、一生懸命傘踊りを学んで、できるだけ早く覚えたことはまだ昨日のここのようだ。初心者として、最初、傘は重くて、踊りが難しいと思ったが、今は慣れた。先生はとっても優しく親切だった。先生の指示のとおり、繰り返し、傘踊りを練習した。練習の間、休憩の時、みんな集まって、アイスを食べたり、ドリンクを飲んだりして、疲れても、嬉しかった。2ヶ月は速く経って、今思えば、この時期も忘れがたい。

いよいよ8月14日になった。この日は留学生、日本人学生と先生とで編成した鳥取大学インターナショナル踊り子隊の出演と、全体の傘踊りの日だった。晴れているけど、蒸し暑かった。昼12時に湖山西公民館大会議室に集まって浴衣を着た。会場に到着した女の子はもう可愛い髪形で、綺麗な花を飾っていた。浴衣の着方は難しかったが、先生たちのお手伝いで早く完成した。多目的ホールで多くの写真を撮ってから、3時に出発した。

若桜街道に着いた。4時に本番のイベントがやっと始まった。鳥取大学インターナショナル踊り子隊は街に出た。踊りの音楽は4つの部分があって、全部で5回踊った。司会がカウントダウンし、音楽が鳴り、踊りが始まった。傘が花びらのように回転し、「ヨシャヨシャ」、「しゃんしゃんしゃん」、「ハイハイハイ」などかけ声が街に響き、踊りながら前に進んだ。陽光が強くて、天気が暑くて、汗がいっぱい出た。少し疲れたと感じたが、観衆の笑顔を見て、拍手、声を聞くと、すぐにもう一度元気になって、踊り続けた。

今回のしゃんしゃん祭はすごく素晴らしかったと思う。参加できて本当に良かった。日本の祭文化に自分で参加し、体験して、留学生として大変勉強になった。傘踊りを学んだし、友達も増えたし、こんな暑い日に外で真面目に踊って、自分に挑戦した。綺麗な浴衣を着て、精密な傘で踊ったことは非常に幸せだった。もしできれば、今度も参加したい。

最後に、傘踊りを教えていただいた先生、本当にありがとうございました。2ヶ月間の練習は短い、長いというよりも、印象深い。鳥取大学国際交流課の先生方、しゃんしゃん祭に参加するチャンスをくださって、本当にありがとうございました。しゃんしゃん祭りのスタッフの方々、暑い日に一緒に頑張ってください、本当にありがとうございました。一年間の留学生活にしゃんしゃん祭があって、完璧だ。一生られない思い出になった。